

地図をつくろうと思っただけ
 は、伊能忠敬の本を讀んで、大昔
 で車もないところまで「歩測」とい
 う自分の足で一歩一歩歩数を数えながら距
 離を測って全国歩いて測りながら正確な地
 図をつくったことにすぎないなと思、たから

伊能忠敬と同じように歩いてやろう
 と思っただけと、長い距離を測るのは
 歩数を忘れたりなどして失敗したの
 で、あきらめまして。
 代わりにはぼくの自転車にはサイ
 クルメーターがついて
 いたので、それで測ることにしまし
 た。

自転車を使っ

↑
 サイクルメーター

野帳を作る

場所、距離、角度、書きやすい表を作りました。(やりながら角度を作り直してこの形になりました。)

伊能忠敬は「わんか羅針」という道具を使っていたけど、家にはないのだから磁針と分度器で測ろうとしたけど角度がきろんと測れなかった。それで、ものさしが回転し目標を見通せる道具をお父さんに手伝ってもらいながらつくりました。

そのころは回転して外角が読めず困っていた。外書きしやすいようにクリップボードにはめる

カメラの三脚を使う

After

ポリバケツの上に方位磁針と分度器、定規置いて

Bestnote

の方法は伊能忠敬と同じ導線法で道路の北からの角度を測つて曲がついてゐるところまでの距離を測ります。

測量に2日
かかった。

N

100°

45°

35°

①作った羅針盤を歩道に置き、方位磁針の北を0度に合わせます。

②次に測量する地点を見通して、道路と平行になるようにそのさしを合わせて角度を測ります。→

③自転車で次の地点まで走り、距離を測ります。(距離がくわらないように、できるだけ大きく歩きます。横道や大きな建物があつたら止まって距離を測ります。)

①②③の作業を地点ごとにくり返します

←

伊能は世界を一周した！？
伊能忠敬は日本地図をかき
ため、4万kmを歩いた。そ
の距離は世界一周するほど
にもなるのである。子と父
の頃の夢をあきらめない執
念がかいた地図であるのだ。

世界一周 4万km

ジャジャーン ついに完成!!

測量した日は、32℃をこえる暑さ
 で大変でした。
 道ゆく人から何してるんだ？とい
 う目で見られてしまいました。
 近くに電柱があると方位磁針がく
 るうので気をつけました。
 真狩全体を測ろうと思っただけど、
 市街地周辺でずいっばいでした。
 日本全国を歩いて測った伊能忠敬
 はすごいなと思いました。
 地図におこした時、別々に測った
 道路と道路がぶつかる所が図では
 すれると思っただけど、ちやんとぶ
 つかないでうれしかたです。
 測量中に暑くて買ったアイスキ
 ンデイーに当たりかてたので嬉し
 かったです。大変だったけど楽し
 かったです。

↑
国土地理院
の地図

ほとんど
同じになった！

